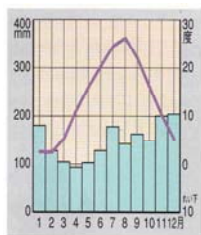


ねらい

我が国の気候について、四季の変化が見られることや国土の南と北、太平洋側と日本海側では気候が異なることなど、大まかな特色を理解しているかどうかをみる問題です。

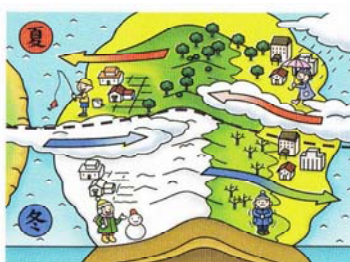
- ① (3) 下の資料1, 2を参考にしながら、新潟の気候の特色について正しく説明しているものを下のア～エの中から一つ選びましょう。
- ア 太平洋側からの季節風が山地にぶつかるため、日本海側では、冬に雪が多く降ります。
 - イ 日本海側からの季節風が山地にぶつかり、冬に雪が多く降ります。
 - ウ 日本海側は冬に梅雨があるので、冬に雨が多く降ります。
 - エ 冬は台風が日本海側からくるため、冬に雨が多く降ります。

(資料1) 新潟の気温と降水量

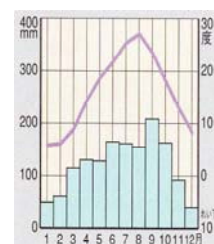


[2009年刊 理科年表]

(資料2) 季節風と山地の関係



(資料3) 東京の気温と降水量



[2009年刊 理科年表]

学習指導要領における内容

- (1) - イ 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活

指導上のポイント



資料1の新潟と資料3の東京の気温と降水量を比べて、何か気付くことはないかな。



東京は、夏に降水量が多いのに、新潟は、冬に降水量が多いと思います。



そうですね。それと東京に比べて、新潟は、冬の気温がやや低いですね。同じ日本なのに、東京と新潟で、このように降水量等に違いがあるのはなぜだろうか、考えてみよう。

まず、太平洋側と日本海側の気温と降水量のグラフを比較させることで、それぞれの気候の違いに気付かせることが大切です。その際、気温と降水量の違いに着目させましょう。

次に、降水量等の違いがなぜ起こるのか、その原因について考えさせましょう。例えば、日本海側は、冬に北西の季節風の影響で冷たい湿った空気が日本海側の山地にぶつかり雪が降るため、降水量も多くなる等季節風の影響や地形条件などに関連付けて考えさせることが大切です。

例えば、北海道(資料4)と与論島(資料5)の同じ3月の様子を表した写真を比較させる等の工夫を行い、国土の南と北で気候が異なることについて気付かせるとともに、どうしてこのような違いがあるのか、考えさせることも大切です。

(資料4)



(資料5)



